

■堺市 堺自然ふれあいの森（堺事業所）

- 住所：大阪府堺市南区畑 1740 番地
- TEL：072-290-0800
- HP：http://www.sakai-fureainomori.jp/
- FAX：072-290-0811
- 施設概要：堺市の最南端に残された、南部丘陵地域の豊かな自然環境や多様な生きものの生息空間を保全するため、市民協働により後世に残す里山公園として、平成 18 年 4 月に開園。面積 17.2ha の園内には散策路、田畑、広場、湿地等のほか、自然学習及び野外の活動拠点として「森の館」が整備されている。
- 発注元：堺市
- 受託年：平成 18 年 4 月～指定管理者、31（令和元）年度より 4 期目の 5 ヶ年を受託。
※指定管理者として、(株)生態計画研究所・NPO 法人いっちゃんクラブによる連合体「ふれあいの森パートナーズ」が運営する。
- 職員人数：4 名
※他に NPO 法人いっちゃんクラブから月 12 名を配置
- 休園日：毎週月曜日、年末年始

●堺自然ふれあいの森の概要

堺市には南部の丘陵地帯に豊かな里山環境が残された「南部丘陵」と呼ばれるエリアがある。南部丘陵は大阪府の「生物多様性ホットスポット」の A ランク（平成 26 年 10 月）に選定されたエリアであり、また、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）」（平成 27 年 12 月）にも選定されている。堺市では、堺市緑の基本計画（平成 13 年 7 月策定）に基づき、緑地の維持管理や緑地保全のための担い手育成、普及啓発の取り組みが行われている。

堺自然ふれあいの森は、南部丘陵における「特に保全を優先すべき地区（160ha）」の中心に位置する公園施設（17.2ha）として平成 18 年 4 月に開園した。

園内は自然環境の保護、活用、復元を図っていく「里山の保全」を目標とし、順応的管理の手法に基づいて農空間と森林が一体となった空間が創出されている。

また、運営テーマとして「森の学校」を掲げ、人と里山との新しい関わり方を学び、里山文化を継承する場として、市民、専門家、大学、行政が一体となった運営管理の組織形態を目指している。

現在は(株)生態計画研究所と市民ボランティア団体である NPO 法人いっちゃんクラブが「ふれあいの森パートナーズ」として指定管理者となり、堺市、大阪府立大学と協議の上で運営管理を行っている。



堺市「南部丘陵」の位置



堺自然ふれあいの森 森の館



トノサマガエル
（堺市レッドリスト：B ランク）



ヘイケボタル
（堺市レッドリスト：A ランク）



フクロウ
（堺市レッドリスト：B ランク）

●主な事業

1. 里地里山の保全・再生・維持に関する活動

園内の動植物生息状況モニタリングを実施している。また、周辺環境との連続性を踏まえた自然環境の保全と復元の計画策定のため、大学や地域からの自然情報の収集や情報交換を行っている。調査結果や標本などの収藏品は堺市の生物目録やレッドリスト改訂作業における基礎データなどの市の生物多様性の取り組みにも広く貢献している。調査結果はボランティアスタッフやジュニアレンジャーといったサポーターと共有し、カヤネズミの生息地創出作業や両生類の生息に配慮した水辺環境づくりなどの保全作業を市民協働で実施している。



ジュニアレンジャーと昆虫調査



昆虫標本の収蔵管理



カヤネズミ生息地の創出

2. 自然や生きものについて学習する活動

来園者対応として、職員によるフィールドでの解説や森の館での案内を実施している（令和2年度来園者：25,039名）。森の館では来園者への自然解説や園内でみられる生きものの解説展示等を行っているほか、季節に応じたセルフガイドを作成し来園者へ配布している。また、「森の学校」のテーマに基づき、市内の小学校の校外学習の受入れを行っているほか、様々な年齢の対象者向けに環境学習に関するイベントを実施している（令和2年度イベント実施回数：159回、1,226名）。特に、未就学児を対象とした自然体験イベントや「里山kids（小4～6）」や「ジュニアレンジャー（中高生）」の年間登録制イベントが好評でリピーターの増加に繋がっている。そのほか、市内の小中学校の教員や保育士向けの研修会も実施している。



小学校の校外学習の受入れ



年間登録制イベント「里山kids」



来館者へ季節の見どころなど案内

3. 地域の歴史や文化を伝承する活動

里山での動植物と暮らしの関わりが体験できる機会の創出として、草木染や糸繰りといった里山の伝統技術に関する体験イベントを実施している。また、里山保全ボランティア養成講座を実施し、緑地保全の担い手作りとともに技術や知恵の伝承の機会創出を行っている。



イベントでの草木染め体験



ボランティア養成講座

4. 地域住民との交流の場や地元の活性化につながる活動

地元の大学や自然保全活動団体の活動エリアを視察し、地域の自然情報や保全技術に関する情報交換を行っている。また、市保有の他施設に自然や環境教育に関するパネルの出展や、出張イベントなどを企画・実施し、地域の施設と一体になって地元の活性化を目指している。



草地生態系保全エリア視察



市役所でのパネル展の開催